



浦崎みゆき 議員

B型肝炎ワクチン 定期接種対策は

答 接種期間を平成29年7月まで
延長し対応する

問 平成28年10月から乳児へのB型肝炎ワクチンの定期接種が始まる。平成28年4月以降に生まれた子が対象となる対象である0歳児は何人か。

副町長 対象児童は450人と見込んでいる。

問 このワクチンは1歳になる前に3回接種が必要となる。3回目の接種は最初の接種から139日あける必要がある。4月に生まれた子は、最終接種までに時間がないが対策はあるか。

民生部長 平成29年7月まで延長できるように検討する。

問 B型肝炎は感染しやすい。3歳未満の90%が保菌者となり得るデータがある。保菌者になると発病のリスクを持つ。1、2歳を対象とした任意の接種に助成をする考えはないか。

副町長 感染すると将来、肝硬変や肝臓がんなどリスクが高い。方法を検討する。

福祉避難所の体制を問う

問 電源が必要な医療機器を使用した医療ケアを行っている住民がいる。非常時用電源が必要な方や介護度の高い方など募り個別の行動支援計画を行う考えはないか。

副町長 災害時要援護者避難計画を策定後、本人の意志を得て個別支援計画を策定する。



ちむくぐる館での防災訓練の様子

問 避難所に非常用電源の確保を予算措置できないか。

民生部長 ちむくぐる館には自家発電がある。最初はそこに避難する形を模索する。「ちむくぐる館」を福祉避難所として設置することも含め検討する。

ひきこもりは専門機関の支援を

問 ひきこもりに対する意識改革で、精神保健や医療、福祉教育など専門機関の支援を必要としている当事者を支援対象と規定された。本町のひきこもりの実態を調査する計画はないか。

民生部長 実態調査は考えていない。福祉マップを作成し個別で訪問し、把握を行っている。

問 インターネットを通じた相談窓口を開設し支援できないか。

副町長 インターネット相談窓口はツールの1つとして調査・研究する。